

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	市議会庶務事業		コード	06-01-09-03	担当課	議会事務局・庶務調査係
事業実施期間	平成17年3月22日から		担当者	金井 和字	電話	0869-64-1803
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり				
	中項目	簡素で効率的な行政運営				
	小項目	その他の事務管理				
	施策	議会				

事業について	
目的	市議会としての対外的な事務、議員の福利厚生、議長公務の円滑な遂行の支援、会議施設の維持管理など市議会の根幹に係る庶務事務を効率的に行う。
対象(誰のために)	市議会議員、議長
内容	議長会や各種協議会に関する事務、議員報酬・共済年金に係る事務、議長の秘書事務、会議施設(議場・委員会室)及び議長室など施設の維持管理、議会費予算の管理、事務局職員の研究など

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
議長車運行回数	75 回		
議長の会議等出張数	96 回		
議長出張随行者数	5 人		
職員研修への派遣数	5 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	287,129	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	14,637	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債		
合計	301,766	一般財源等	301,766	合計	0	一般財源等	0	

結果指標①	結果指標名	1.72	人		人
	結果指標量	議長車運行回数			
	単位	75			
	対前年比	—		0.00%	
結果指標②	結果指標名	949,545	円		円
	結果指標量	職員研修への派遣数			
	単位	12,661	円		円
	対前年比	—		0.00%	
	事業費	505,990	円		円
	単位当たりコスト②	101,198	円		円

事業の成果			
成果指標名	議長車運行率	式又は説明	議長車運行回数 議長公務出張数 (議長公務出張を議長車により行った割合により、議長公務が安全に遂行できた検証する)
	17年度		
成果指標量	78.1%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	H18

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的は妥当である 関係法令等:	課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	限られた職員により事業実施する中、常に効率性を追求しているが、議長公務に付随しての議長車運行に関しては、事務局職員で対応するより、兼任の運転員による対応がより効率的であると思われる。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	議長車の運行を事務局職員で対応しているため、議長公務の全てに対応できていない。事務局職員の職務効率化と議長公務遂行の安全性を考慮すべき。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

事業の目的、対象、内容を考えているが、目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		
コメント	定例的な庶務事務を除くと、議長の秘書事務が大きな割合となる中、議長車の運行を事務局職員が行っているため、職員の職務にも影響し、また、公務が議長の私用車などにより行われることもあり安全性に配慮すべきであり、議長公務にも支障が見られる。	評価区分 <A~E> <b>C</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	議長出席公務数の9割	結果指標量②	6人
目標値	成果指標量	90%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	議長車の運転員を確保する。	H18	事務局職員の負担軽減と、議長公務遂行の安全性を確保できる。
有効性			